



いよいよ3学期が始まりました。12日のお餅つきでは、お手伝い父さん母さんのご協力をいただき、4日のお餅をついて美味しくいただく事ができました。ありがとうございました。私の子どもの頃は親戚が集まってお正月にお餅つきをしていましたし(一体いつの時代なのか?!)、子育てした頃は地区の子ども会や公民館(これもいつの時代? という施設名ですね…)のお祭りで度々お餅つきを楽しみました。みんなでワイワイと集まり協力してお餅をつき、分かち合っていたく日本の伝統的な文化、地域やコミュニティの絆を深められる大事な行事だったと思います。現代社会の中ではずいぶんと機会が減ったところに、新型コロナウイルスの影響によりますます実施が難しくなったことに心が痛みます。そのような中でも、こうして園でみんなで臼を囲み、もち米が蒸され熱々の湯気が立ち、お父さんたちがつくごとに粒がなくなっていく様子を見たり、長ーく伸びたお餅に「わあー」と驚いたり、五感でお餅つきを体感することができました。心から感謝いたします。

さて、直前の休園措置でご心配をおかけし、また日程の急な変更などでご迷惑もおかけしましたが、子どもも大人もクリスマスを迎える様々な準備の時をアドベントとして過ごせたこと、またにじ組クリスマス礼拝、讃美礼拝、親子礼拝を皆様と一緒に祝い喜べた事に感謝申し上げます。

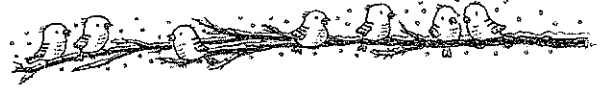
お忙しい中、スタッフへのクリスマスメッセージ、プレゼントをどうもありがとうございました。開けた時の驚きと喜び! 思いがけない仕掛けに思わず「わあ!」と声が出てしまいました。(ほぼ全員がどのように作られているのか? と即座に確かめていました(笑) 保育者としても刺激されました。)メッセージカードの皆様の真心こめた一言一言が心にしみわたり大きな励ましとなっております。

今回の子どもニュースはクリスマスアンケート編です。沢山の丁寧なご意見を本当にありがとうございました。皆様からのお声をご紹介し、もう一度クリスマスの喜びを分かち合いたいと思います。

児玉芽 

クリスマスアンケートにご協力、ありがとうございました。おうちの方からのアンケートと共に、クリスマスを振り返っていきたいと思います。

(*：おうちの方より，☆：園より)



休園を挟んで…

- *今年の讚美礼拝、クリスマスは今までで一番お祈りをしました。クリスチャンではないけど、毎日お祈りをしました。これからコロナで悲しい、悔しい思いをする子がいないよう祈るばかりです。
- *最後の讚美礼拝、まさかの延期で、子どもも練習ができないことに戸惑っていましたが、一緒に練習したりして逆に良い時間を与えてもらったように感じました。
- *今年、最後の讚美礼拝、クリスマス礼拝を同じ場所で迎えることのできなかった年長のお友達、保護者の方のお気持ちを考えるととても辛く、まだ今年もコロナに振り回される生活に暗澹としてしまいました。できるだけ前向きに、と勤めているのですが、この三年間で一番心がしんどかったかもしれません。
- *このコロナ感染拡大している中、先生方や子ども達を支えてくださる方々のお力添えのおかげで無事に讚美礼拝・クリスマス親子礼拝ができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。
- *コロナに負けない強い未来の光だなあーと子どもたちの姿から学ばされました。

☆今回のアンケートの中で一番多かったトピックスは、やはり新型コロナウイルスや休園に関してでした。直前のスケジュール変更にご理解ご協力いただき、本当にありがとうございました。

コロナ禍が始まってからの三年、幼稚園ではこれまでの形とは違った方法で行事を行わざるを得ない状況です。今年こそはと三学年のおうちの方と一緒にいる讚美礼拝を計画しましたが、残念ながら実現できませんでした。けれども、このような時だからこそ、普段の当たり前の生活に思いを巡らせたり、その場にはいない人のことを想って祈られたりされた方も多かったのではないのでしょうか。祈りながら待ったクリスマス、2000年前のユダヤの人々そのものだったように感じます。

クリスマスを迎えるにあたって



- *家では、讚美礼拝・クリスマス礼拝の練習が始まった頃から終わった後もずっと、礼拝の歌を遊びながら口ずさんでいて、クリスマスの雰囲気親子共々心地良く感じていました。
- *毎日のように歌を嬉しそうに歌う姿が見られ、次第に兄や私も一緒に大合唱する日々が私もとても楽しかったです。素敵な思い出になりました。
- *園で見たり聴いたりしてきた歌やセリフを家で再現してくれるので、園のみんなや息子がクリスマスを感しながら日々を過ごしているのを感じました。

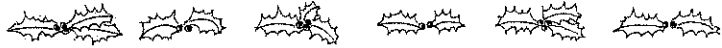
- *娘たちが幼稚園に入園してからはクリスマスが近づくと毎日讃美歌を嬉しそうに歌い、家族も一緒に歌う日々。クリスマスを迎えるまでの気持ちも変わり、毎日がとても楽しく過ごせます。自分のクリスマスブックをもらった日は嬉しさが顔中にあふれていました！！
- *毎日のようにクリスマスブックを開き、「練習する！」と言って歌っていました。楽しそうに歌う姿に家族みんなが幸せな気持ちになりました。
- *クリスマスブックをすごい楽しみにしていた。もらってきた日には「いいものもらってきたよ、家に帰ったら見せるね」とニコニコ顔で帰ってきた。こどもニュースにあったように、年長・中さんのクリスマスブックを見て「自分のはまだかな…」と楽しみに待っていたことが伺えて微笑ましかった。
- *当日まで自分たちで作ったベルが飾ってもらえることをドキドキ楽しみにしていて“今日は〇〇ちゃんのベルだったよ”とお友達の分までうれしそうに報告してくれました。“今日はハレルヤがあるんだ！”とクリスマスブックをもらう日、役を決める日、練習をする日、衣装を合わせる日、みんなで通し練習をする日…今日は早めに行く！と讃美礼拝を楽しみにする娘と共にたくさん話げできたのも素敵な思い出になりました。
- *クリスマスに向けた歌の練習やアドベントカレンダーも、とても楽しく取り組んでいることが伝わってきました。クリスマスが近づいてくるワクワク感も親子で楽しむことができました。
- *親もよく知らなかったクリスマス本来のお話を毎日嬉しそうに話してくれて、本当に驚かされました。物事の本来を教わり、自分の知識として学んだことは3歳のクリスマスとして大切に刻まれたと思います。
- *我が家はクリスチャンではないので、本当のクリスマスの意味を知りませんでしたが、娘が幼稚園で教えてもらったことを聞き、私も勉強になりました。
- *クリスマス当日はもちろんですが、クリスマスを待つ期間の「準備をする時間」というものを特に特別に思いました。私はアドベントカレンダーづくりに参加したり、この頃から教会にも行くようになり、「待つ」ということの意味、大切さを考えることができました。一日いちにちを与えられているということ、多くの人に励まされている私、生かされている命なんだということを改めて気づくことができました。
- *当日だけではなく、一週間ずつろうそくの火がともされていくことや、準備の時間があり、親子でじっくりとクリスマスを感じることができました。
- *今年はクリスマス献金をあつめる為、お手伝いをいっぱい積極的に取り組んでくれました。
- *親子で楽しかったこと、嬉しかったことを伝え合い、クリスマス献金をすることで家族皆とても嬉しい気持ちでクリスマスまで過ごすことができました。

☆ご家族で讃美礼拝の歌を歌ったり、クリスマスについて話し合ったり、とそれぞれのご家庭でクリスマスを待ち望む時間を過ごされている様子にア

アンケートを読みながら心温まる想いでした。

また、幼稚園の装いも、エントランスにハンドメイドの会の皆さんが素敵な飾り付けをしてくださったり、各クラスなどに園芸の皆さんが作ってくださったリースを飾ったり、とおうちの方にもご協力いただきながらクリスマスに向けて準備をしていきました。子どもたちだけでなく、おうちの方ともクリスマスに向けての日々を重ねることができました。ありがとうございました。

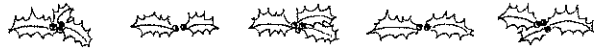
讚美礼拝当日



- * 金城学院幼稚園に入園したおかげで、クリスマスの迎え方、過ごし方が変わりました。沢山の愛につつまれて、クリスマスがもっと好きになりました。
- * 当日の朝、緊張でご飯も食べられませんでした。それだけ場の雰囲気や自分に役割がある事に責任を感じているのだと、年少の頃とは違う姿に成長を感じました
- * 自分の子どもに感動したのはもちろん、お友達の成長にも嬉しくなり始終胸が熱くなりました
- * 年少の頃は泣いてばかりだった娘が、自分でやりたいと思うものを見つけ、その目標に向かって努力し、そしてその成果を見られる日が来るとは…もう感動です。心の中で拍手していました。
- * 厳かな雰囲気の中休園期間があったとは思えない程上手で驚きました。普段から子どもたちが自主的に楽しみながら演じたり、皆と一緒に頑張れるのかなと感動しました。休園の時に一緒にクリスマスブックを見ました。歌ったりはしてくれませんでした。一緒に見るのが大事な時間になりました。
- * 私もみんなを応援するような気持ちで見守っていたのですが、お迎えの時に会った年中さんのお母さんから息子の事を「頑張ってたね」と声をかけてもらい、配信でもお家で見守ってくれたんだなと温かい気持ちになりました。園全体が大きな家族のような雰囲気がいつもいつも良いなとしみじみ思います。
- * クリスマス=プレゼントがもらえる日となってしまうがちですが、クリスマス当日に Happy Birthday の歌をうたって「イエスさまのお誕生日だよ」という我が子たちに驚き、しっかり意味のある日になっていることを嬉しく思いました。
- * 来年の自分に想いを馳せ、年長さんの姿を憧れの眼差しで見ているんだろうと思ひ、今の気持ちを大切にしてほしいと思ひました。

☆休園期間がありましたが、子ども達そしておうちの方々にもクリスマスの本来の意味が伝わり当日を迎えられたこと嬉しく思います。子ども達の頑張る姿にも感動した讚美礼拝でした。我が子だけではなく、他のお子さんの成長も喜び合う温かなアンケートを沢山いただきました。年中さん、年少さんが一緒に礼拝できたことで、年長さんの立派に役をやり遂げる姿が心に残り、次に受け継がれていく事を願います。

配信を通して礼拝に参加して



- * 残念ながらお休みで同じ場所で一緒にできなかったお友達のことをおもい、きっと同じ時間に場所は違っても一緒にやっていると感じながら、お友達と心をひとつにしてやり遂げることができました。
- * 礼拝の様子を土曜日にも関わらず配信して下さったスタッフの方々のことを思うと開始前から感動で泣けました。オンラインですが、同じ空間を共有でき、感謝しています。
- * 残念ながら讃美礼拝はYouTubeでの視聴でしたが、少しずつ以前のように行事ができるようになっていく事が本当に嬉しいです。
- * コロナ自宅待機期間だった為、配信を家族全員で見ました。皆と一緒に聖歌を歌う娘の姿に驚きました。もちろん現場で参加できることが一番ですが、離れた場所でも一緒にクリスマスを祝い、そういった姿を見ることができ、嬉しかったです。

☆急な日程変更にも関わらず、対応してくださった大学マルチメディアセンターの方々には本当に感謝です。お休みしていた子の中には、用意した役の衣装を家で着て配信を見ながら参加していたそうです。できないことに目を向けるのではなく、工夫や知恵を持ち乗り越えていく事の大切さを気づかせてもらいました。来年こそは全学年の保護者の参加が叶うよう願っています。

親子礼拝

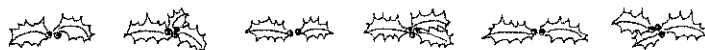


- * 親子礼拝での学生さんのハンドベル、そしてキャロリングにはとても癒されました。素敵な時間を過ごすことができました。
- * ハンドベルのコンサートがとても素晴らしかったです。年中になって初めてだったので感動しました。
- * 親子礼拝での学長小室先生のイエス様が馬小屋でお産まれになった時のお話はさすが！私のような者にもわかりやすく、またハンドベルクワイアのアンサンブル力の高さには息を飲みました。一体どれだけの練習をしたらあんなにキレイな音で奏でられるのでしょうか。
- * 午後からの親子礼拝は、残念なことにざわつきが多く緊張感のない親子礼拝になってしまったのが非常に残念に思います。

☆今回、親子礼拝で全親子が集まった後の予備日(19日)では、さらに感染が広がる可能性もあるとの判断から、急遽土曜日の午前中に讃美礼拝を行ないました。感染状況からの判断とはいえ、未就園のお子様がいらっしゃるご家庭や、おうちが遠方の方々にはご負担をおかけしたと思います。その為、タイトなスケジュールになり大変な思いをしたというアンケートを多く頂きました。またその影響により、親子礼拝が長く感じる事にも繋がったのではと考えられます。おうちの方と一緒に礼拝に参加する機会、素敵な音楽に触れ

る機会を大切にしていく為にも、もう一度スケジュールの組み方は検討して
いきたいと思います。

プレゼント



- *プレゼントも嬉しそうに渡してくれました。思えば、生まれて初めての子から母
へのプレゼントかもしれません。プレゼントを受け取る喜びを味わいました。
- *クリスマスプレゼントがとても嬉しく、「一生懸命作ってくれたんだね〜！」と
難しかった作業や楽しかった作業など、きくと嬉しそうに話してくれました。
- *娘が幼稚園から帰ってくると「今日もやすりがけやったよー。やすりがけしてた
から、あんまり遊べなかった」とよく言っていました。讚美礼拝から帰ってきた
らすぐにプレゼントを渡してくれました。“これだったんだなあ”頑張ってやす
りを掛けていた姿を想像したら何だか心温まりました。完成品だけでなく、作る
過程にも目を向け、大切にしている保育の在り方にいつも感心しています。

☆子どもたちからも「ありがとうって言ってもらった!」「かわいいね、って
褒めてもらった」とプレゼントを渡した時の話を聞きました。子どもたち
の心のこもったクリスマスプレゼント、受け取っていただけましたでしょ
うか?



今年度のクリスマスはいかがでしたか?

アンケートの中には「にじ組の時に初めて観させて頂けた讚美礼拝。あのおごそ
かな雰囲気は、今でも忘れません。またいつか、保護者のうたで入場し、皆でうた
って皆で作りに上げるような讚美礼拝が戻りますように願っています」と書かれてい
たおうちの方もいらっしゃいました。来年度こそ、一人でも多くのおうちの方と共
にクリスマスの礼拝を守れるようにと、願っております。

(まお & ゆか)